

## 特集

## 研究の意味

## 多領域とともに考える

## 〈執筆予定者〉

島蘭進, 藤沼康樹, 河野哲也, 道信良子, 三井さよ, 八田太一,  
細馬宏通, 宮子あずさ, 野寄修平/三浦由佳/真田弘美

## 【特別記事】

医療現象学の構築に向けて 榊原哲也/野口綾子

研究対象者に対する研究倫理を考える・4 河原智江, 久保恭子, 西村ユミ

## 【連載】

英語論文を書くということ・8 余善愛

## 編集後記

●よい, おもしろい, 論文, 研究など, 日頃何気なく使う言葉にも豊かな多様性と広がりがあることを, 本特集で実感しました。わかる, もそうです。一つのわかるの先には二層, 三層のわかるが現われて, その都度, わかることの深さが増します。次のわかるに辿り着くには知識の蓄積や関心の継続が不可欠で, それがある飽和に達すると, 無意識のうちに, 次のわかる領域に足を踏み入れています。きっと, 終わりはないのでしょう。そしてその果てない過程のどこかに, 何かの「よさ」や「おもしろさ」, 反対に「よくなさ」「つまらなさ」が, 身体感覚としてわかったような実感を抱ける地点があると思います。ここに至ってやっと, 自身の判断基準や一種の信条を獲得できる気がします。特集を通じて, 研究者とは最後まで, わかることを求め続けるのだと改めて感じました。私も少しでもそれに倣って, 一つずつ, 研究とは何かがわかる地点を見つけていきたいと思っています。

(小長谷)

看護研究 第49巻 第6号(通巻269号) 2016年10月15日発行(増刊号を含め7回発行)

発行: 株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2016, Printed in Japan

販売部(03)3817-5659 社内案内(03)3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

『看護研究』編集室: (03)3817-5775 電子メールアドレス [kanken@igaku-shoin.co.jp](mailto:kanken@igaku-shoin.co.jp) 担当/小長谷・早田  
1部定価1,900円+税

2016年年間購読料(いずれも+税, 送料弊社負担, 増刊号を含む7冊):

冊子版12,060円 冊子+電子版/個人15,060円 電子版/個人12,060円

〈学割年間購読料〉冊子版9,720円 冊子+電子版/個人12,720円 電子版/個人9,720円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail [info@jcopy.or.jp](mailto:info@jcopy.or.jp))の許諾を得てください。

## ●編集協力者(五十音順)

阿曾洋子/井上智子  
井部俊子/太田喜久子  
岡谷恵子/片田範子  
金井Pak 雅子/上泉和子  
萱間真美/川口孝泰  
河口てる子/グレッグ美鈴  
黒田裕子/小松浩子  
坂下玲子/真田弘美  
筒井真優美/水流聡子  
西村ユミ/野嶋佐由美  
早川和生/舟島なをみ  
正木治恵/村嶋幸代  
森 恵美/安酸史子  
山田雅子/山本則子

## 看護研究バックナンバー

vol.  
49  
no.  
5  
Jul  
Aug

### ●特集 | 介入研究をどう進めるか

介入研究のこれまでとこれからの展望 西垣昌和  
介入研究における研究計画立案のポイント 奥村泰之  
介入研究の実施体制のマネジメント—計画立案時のロジスティクス構築の重要性 竹原健二  
介入研究の道のり：発案から臨床応用まで—背面開放座位とアロマセラピー研究の実績から 大久保暢子  
看護のエビデンスを大規模研究から構築するために—AMEDの取り組みから 関根小乃枝

#### 〈特別記事〉

【研究対象者に対する研究倫理を考える②】研究対象者に対する倫理的配慮の範囲と取り組むべき課題  
河原智江, 西村ユミ, 久保恭子

#### 〈研究報告〉

介護老人保健施設に勤務する看護師のアセスメント技術に関する研究 山田由紀

#### 〈連載〉

英語論文を書くということ⑥ 論文を出版するまでの過程 余 善愛

vol.  
49  
no.  
4  
Suppl.

### ●特集 | 看護と哲学—共同がもたらす新たな知

看護と哲学—看護と現象学の相互関係についての一考察 榊原哲也  
補い合うことと考えること—ある看護師へのインタビューの分析から 小林道太郎  
言葉を使って痛みを他人に伝えることはできるか—痛みの表現における発話行為と比喩の使用についての考察 池田喬  
哲学を学びながら臨床現場で働く 三浦智美  
生きられたからだを描く—回復しつつある身体の実験から 坂井志織  
慢性病者の経験の記述に関する一試論—“第二の人生”が主題となった語りを手がかりに 細野知子  
まわりの人との関係の中で「できる」ということ—現象学が見せてくれるもの 村上優子  
インタビュー分析の言語学的基盤, 個別者の学としての現象学 村上靖彦  
「そうではなくて」という思考のスタイル—現象学と看護研究の関係を捉え直す 西村ユミ

#### 〈特別記事〉

第19回 EAFONS in Chiba 開催報告 宮崎美砂子

#### 〈連載〉

英語論文を書くということ⑤ 考察を書く 余 善愛

vol.  
49  
no.  
3  
May  
Jun

### ●特集 | 看護におけるシステマティックレビュー

コクランにおけるシステマティックレビューの基礎—リスク・オブ・バイアスとメタアナリシス 大田えりか  
質的研究のシステマティックレビューの現状と動向—JBIの取り組みから 今野理恵

#### 〈特別記事〉

【研究対象者に対する研究倫理を考える①】研究対象者に対する倫理的配慮の問題点  
河原智江, 久保恭子, 西村ユミ  
看護研究における実践に関する知識の基本的な枠組み 家高 洋

#### 〈原著論文〉

雑談に埋め込まれた社会的学習—小児病棟における「わざ」の伝達 川名るり

#### 〈連載〉

Journal Watch 海外の看護学研究から学ぶ Extra

【座談会】海外の文献から大学院生は何を学ぶのか—Journal Watchの活動を通して 深堀浩樹, 小玉淑巨,  
井尻弓子, 奥村朱美, 那須佳津美, 山縣千尋

